

## 第15問 解答例と解説

1 から 10 までの数を

$\{1,10\}, \{2,9\}, \{3,8\}, \{4,7\}, \{5,6\}$

の 5 つの組に分けてみる。

このなかから、6 個の数をどのように選んだとしても、5 つの組のうちのどれか組の両方の数を選ぶことになる。その 2 数の和は 11 になっているから、和が 11 になる 2 数が必ず含まれるとわかる。

どうでしょう。コツはつかめましたか？

対象となっているものの集まりを

選ぶ数より少ないグループに分ける

そうすると、どれかのグループから 2 つ以上

選ばなければならないから・・・

という論法ですね。

それでは、もう 1 題練習してみましょう。